



自民党・無所属 大阪府議団だより

旭区選出 富田 ただやす

地域/現場/人に寄り添い、
共に歩む 大阪の発展、そこで暮らす地域の皆さま、
社会的弱者や勤労者のために。



プロフィール 新森小路小、旭東中、関西大倉高校、関西大学社会学部卒業。学生時代に訪れた阪神・淡路大震災復興支援ボランティアの際、被災地でのダイエーの活躍に感銘を受け入社。被災地三宮などでの勤務を経て、UIゼンセン同盟ダイエーユニオン中央執行委員として、ダイエーのリストラ期に全国を奔走。大阪府議会議員 富田健治 秘書を経て、2015年4月より大阪府議会議員。自民党・無所属大阪府議会議員団に所属し、府民文化常任委員会の会派代表者。学生時代より青少年指導員、東日本や熊本での被災地支援等、多数ボランティア活動に取り組む。

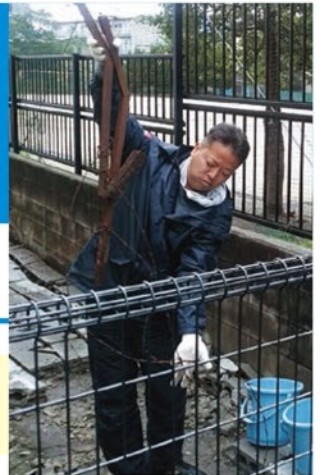
府民の「生命と財産」を守り、「安全安心な街づくり」を進めるために 府議会の場において以下のことを提案・実現してきました

提案 1 熊本地震の教訓を「地域防災計画」に反映させました

実現!

大阪府地域防災計画に反映させることとなりました。

富田議員 「熊本地震の教訓を踏まえた点検を行ない、震度7という大きな地震の連続発生を想定した対策案を盛り込むべき。」と提案。(平成28年5月定例会本会議)



▲熊本でのボランティア活動

提案 2 府内全市町村の「緊急避難場所・避難所」の指定を完了させました

実現!

質問前の時点で12市町村、質問時には3市村にて未指定でしたが、質問後、府内全市町村において指定が完了。

富田議員 「府内市町村の緊急避難場所及び避難所の指定状況について伺う」(平成28年度5月定例会本会議)



▲岩手県宮古市の復興現場にて

提案 3 支援学校全校への備蓄品配備を実現しました

実現!

府内全44校への備蓄品配備が完了しました。

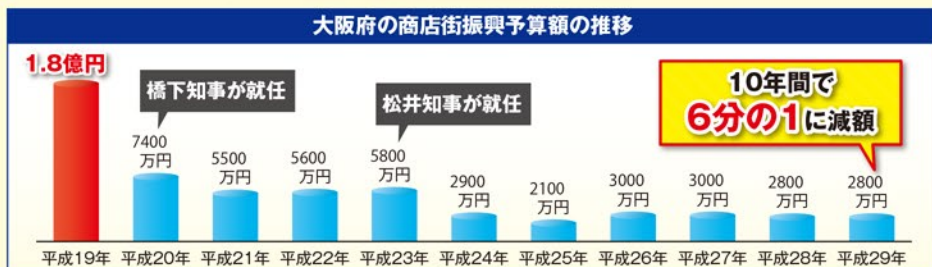
富田議員 「府内支援学校に在籍する約9,000名の子どもたちは、災害発生時に避難所へ速やかに避難することが難しいため、支援学校には備蓄品を配備すべきではないか。」と提案。(平成28年5月定例会本会議、平成28年9月定例会教育常任委員会)



提案 4 安全安心な街づくりの一端を担う
商店街への予算措置を要望



富田議員 「大阪府・市ともに商店街振興への予算措置は全国最低レベルです。商店街とは、単に買物や飲食をする場所だというだけではなく、世代を超えたふれあいをもたらすコミュニティとしての機能を有し、地域の安全安心や福祉的な面でも街づくりの一端を担う大切な社会インフラでもある。他府県比較でも、大阪府の取り組みはあまりに脆弱で、しっかりと予算措置すべきではないか。」と提案。(平成29年9月定例会商工労働常任委員会、平成30年2月定例会本会議)



松井知事より前向きな答弁がなかったため、今後も引き続き議会で取り上げて参ります。

提案 5 白地図のない防災ハザードマップの作成を提案しました



▲「大阪北部地震」「台風21号」の直後には旭区全域の被害状況を現場確認し、役所・警察・消防・関西電力・大阪ガス等の関係各所と連携して旭区の復旧に努めました。また区民の皆様から多数のご相談も承っており、少しでもお役に立つことができるようにと、引き続き対応しているところです。

富田議員 「隣の市町村との隣接部分にも詳細地図が描かれているハザードマップの作成を、大阪府から府内市町村に働きかけるべき。」(平成30年2月定例会本会議)

現在、様々な機会を通じて、府から各市町村への働きかけを行なっています。